

平成28年度

第2回 高崎市箕郷地域振興協議会 次第

日 時：平成29年1月16日(月)  
午後1時30分～

場 所：箕郷支所3階 第5会議室

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

(1) 箕郷地域に関わる事業報告について 資料1

(2) 箕郷地域のまちづくりに関する意見について 資料2

4 連絡事項

5 閉 会

<配布資料>

資料1 箕郷地域に関わる事業報告一覧

資料2 箕郷地域のまちづくりに関する意見一覧

参考資料 平成27年度 高崎市決算の概要について

## 箕郷地域に関わる事業報告一覧

ページ	事業名	所属 (支所)
1～5	箕輪城跡保存整備事業	文化財保護課 (地域振興課)
6～7	箕輪小学校校舎改築事業	教育総務課 (地域振興課)
8～10	富岡生原線街路事業	都市施設課 (建設課)
11	箕郷地域住民センター設置事業	企画調整課 (地域振興課)
12	農業の成長産業化への取り組みについて	農林課 (産業課)



## 箕郷地域に関わる事業報告書

平成28年10月31日現在

事業名	箕輪城跡保存整備事業	所属 (支所)	教育部文化財保護課 (箕郷支所地域振興課)
実施期間	平成6年度～全期	事業の種類	ソフト事業

### 【事業概要】

対象		
実施目的	具体的手段	その他
国指定史跡箕輪城跡を適切に保存・管理するとともに、市民共有の文化的・歴史的遺産として活用を図る。	市民共有の文化的・歴史的遺産である箕輪城跡を後世に伝えて行くとともに、史跡公園として広く活用を図るため、整備を行う。	史跡指定面積 約19ha 昭和62年度 史跡指定 平成5年度～ 公有地化 平成15年度 基本計画策定 平成19年度 発掘調査報告 平成21年度 基本設計 平成23年度～ 整備工事

### 【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	27年度事業実績
合計	94,512	40,554	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郭馬出地区整備工事</li> <li>城門復元工事(一部を平成28年度に繰越し)</li> <li>土塁復元工事</li> </ul>
国	44,713	16,285	
県	13,413	4,885	
地方債	0	0	
その他	10,000	10,000	
一般	26,386	9,384	

### 【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	28年度事業予定
合計	56,783	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郭馬出地区整備工事(11月23日に完成式典後、一般公開予定)</li> <li>・園路整備工事(11月23日から供用開始予定)</li> <li>・案内板等設置工事(今後設置予定)</li> <li>・本丸整備実施設計(今年度内に完成予定)</li> </ul>
国	26,000	
県	7,800	
地方債	0	
その他	10,000	
一般	12,983	

平成28年度箕輪城跡整備工事写真（平成28年10月31日現在）



郭馬出西虎口門工事状況（前面）



郭馬出西虎口門工事状況（背面）



郭馬出工事状況



二の丸・郭馬出土橋工事状況

平成28年度箕輪城跡整備工事 完成状況写真



郭馬出西虎口門完成状況（前面）



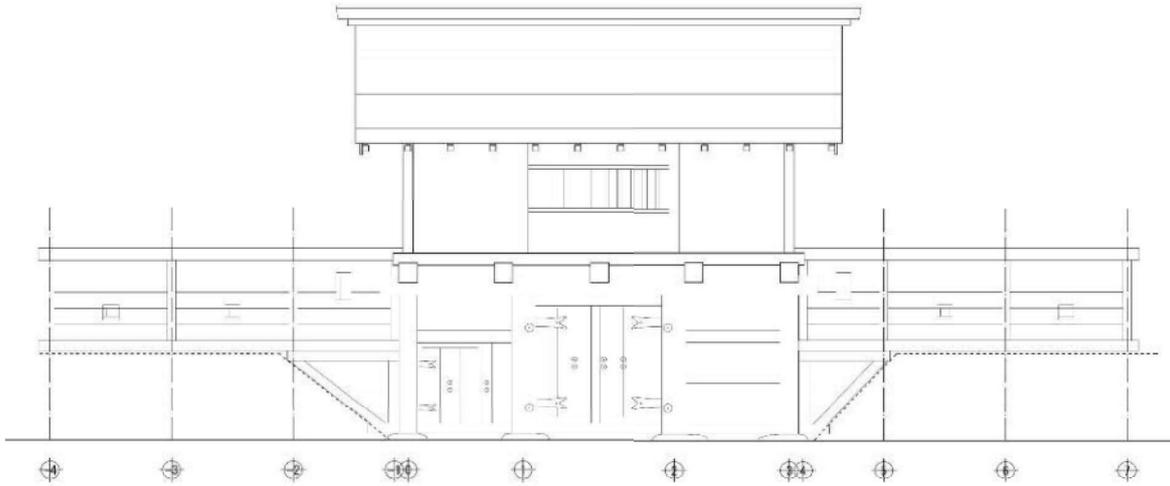
郭馬出西虎口門完成状況（背面）



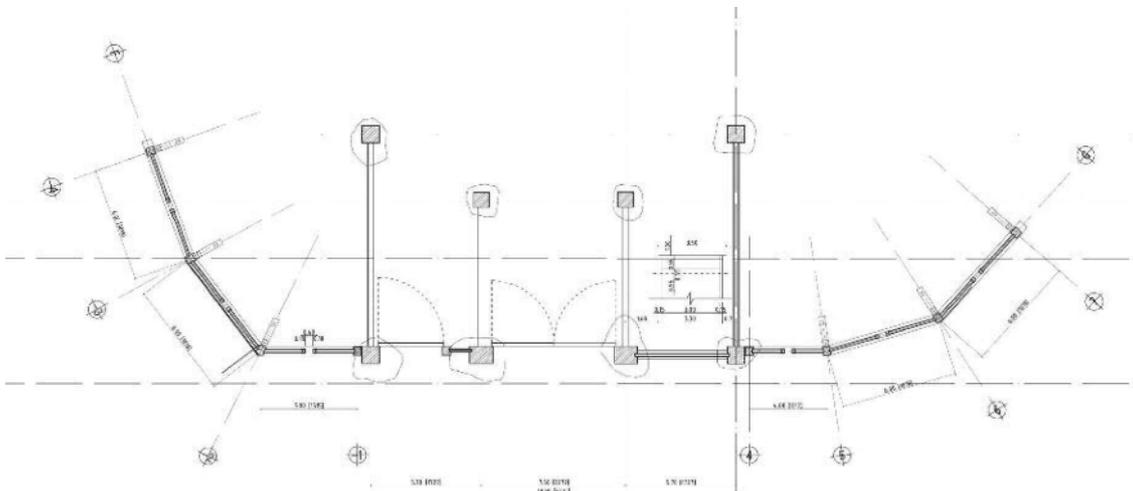
郭馬出土塁完成状況



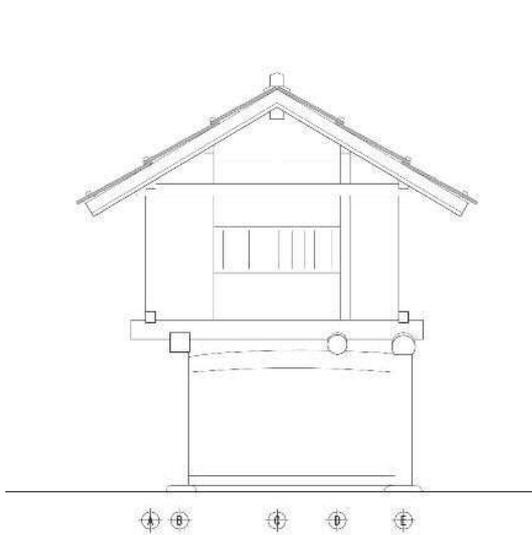
搦手口から郭馬出園路完成状況



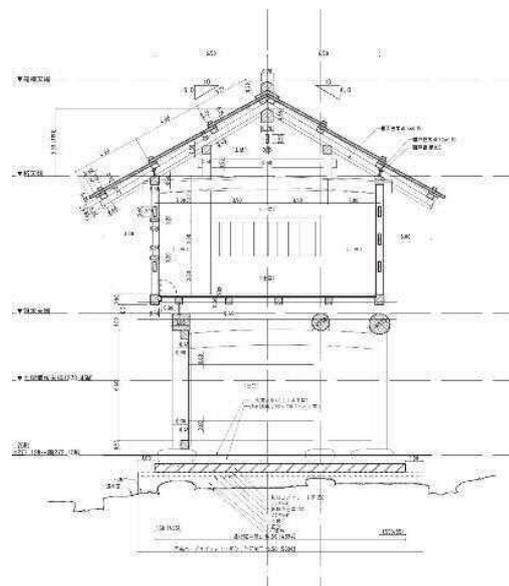
郭馬出西虎口復元城門正面圖



郭馬出西虎口復元城門 1 階平面圖

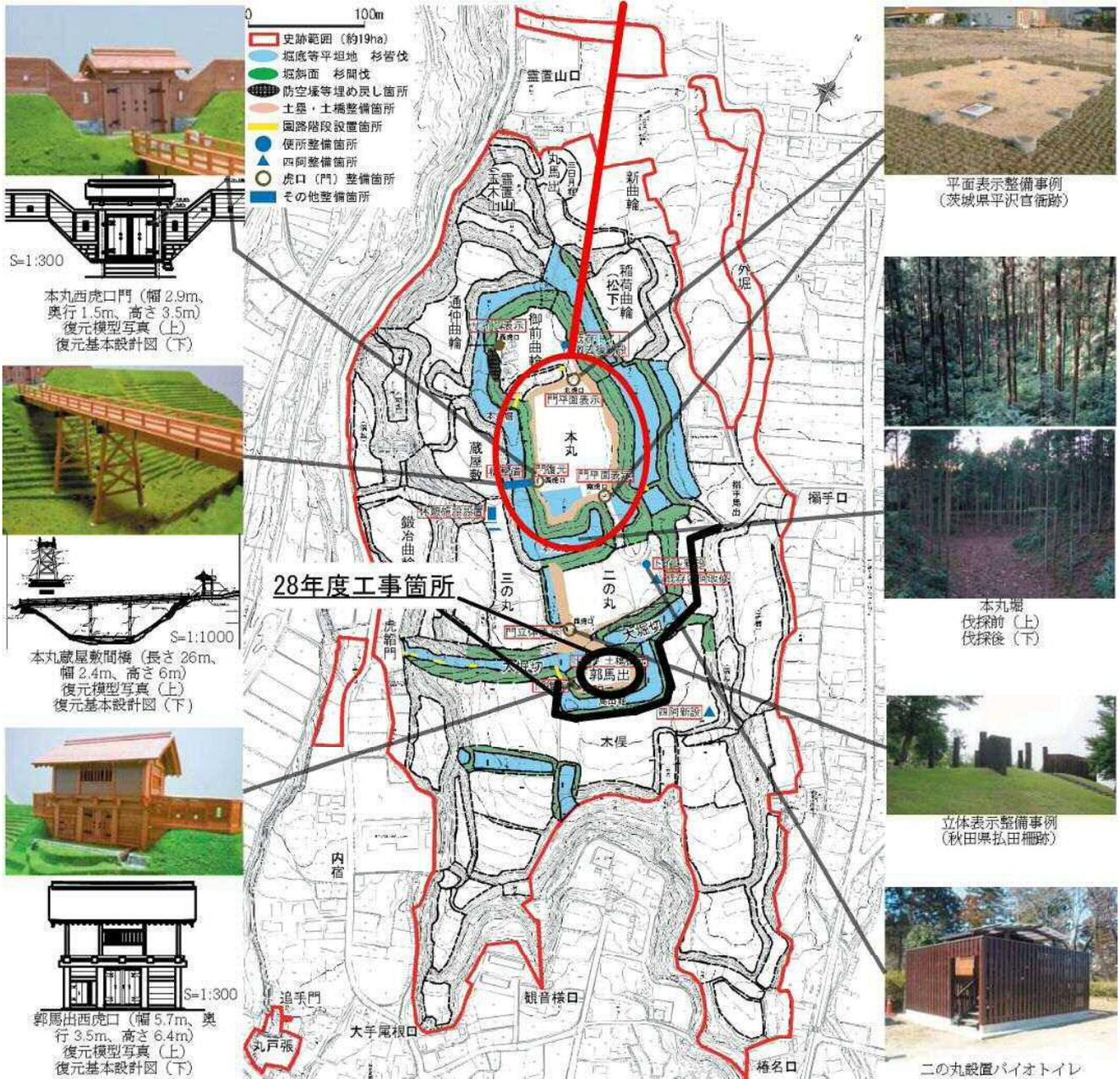


郭馬出西虎口復元城門側面圖



郭馬出西虎口復元城門断面圖

## 28年度実施設計箇所



## 短期整備 (平成 23 ~ 32 年度) 計画図

## 箕郷地域に関わる事業報告書

平成28年10月31日現在

事業名	箕輪小学校校舎建設事業	所属 (支所)	教育部教育総務課 (箕郷支所地域振興課)
実施期間	平成25年度～平成32年度	事業の種類	ハード事業

### 【事業概要】

対 象			
実施目的	具体的手段	そ の 他	
児童が心身ともに健全でゆとりある学校生活を送るため、快適な環境を維持することを目的とする。また、学校施設は災害時に避難場所となることから、安全性の確保を図る。	耐力度調査に基づき、校舎の改築を実施する。		

### 【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	27年度事業実績
合計	24,165	29,365	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計委託</li> <li>・プール解体工事</li> </ul>
国			
県			
地方債			
その他			
一般	24,165	29,365	

### 【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	28年度事業予定
合計	207,709	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計委託</li> <li>・木材調達業務委託</li> <li>・仮設校舎借上</li> <li>・建設等工事</li> </ul>
国		
県		
地方債		
その他		
一般	207,709	

箕輪小学校校舎イメージ図



## 箕郷地域に関わる事業報告書

平成28年10月31日現在

事業名	富岡生原線街路事業	所属 (支所)	都市整備部都市施設課 (箕郷支所建設課)
実施期間	平成20年度～平成28年度	事業の種類	ハード事業

### 【事業概要】

対象		
実施目的	具体的手段	その他
前橋方面に向かう車が増大するとともに、沿線にはさわやか交流館や総合運動場があり児童、生徒の利用頻度が高い。道路両側に歩道を確保することにより、自転車歩行者の安全を図る。	用地買収及び道路改良工事により整備する。	延長 L=680m 幅員 W=12m 整備済み L=507m 進捗率 89.3%

### 【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	27年度事業実績
合計	83,800	107,296	・工事内容 ボックスカルバート工 L=13.4m 落差工 一式 舗装工 A=657.9㎡ 仮設道路 一式  変更詳細設計、水道管布設替工事、電柱移設等
国	37,950	54,329	
県	—	—	
地方債	27,900	40,000	
その他	—	—	
一般	17,950	12,967	

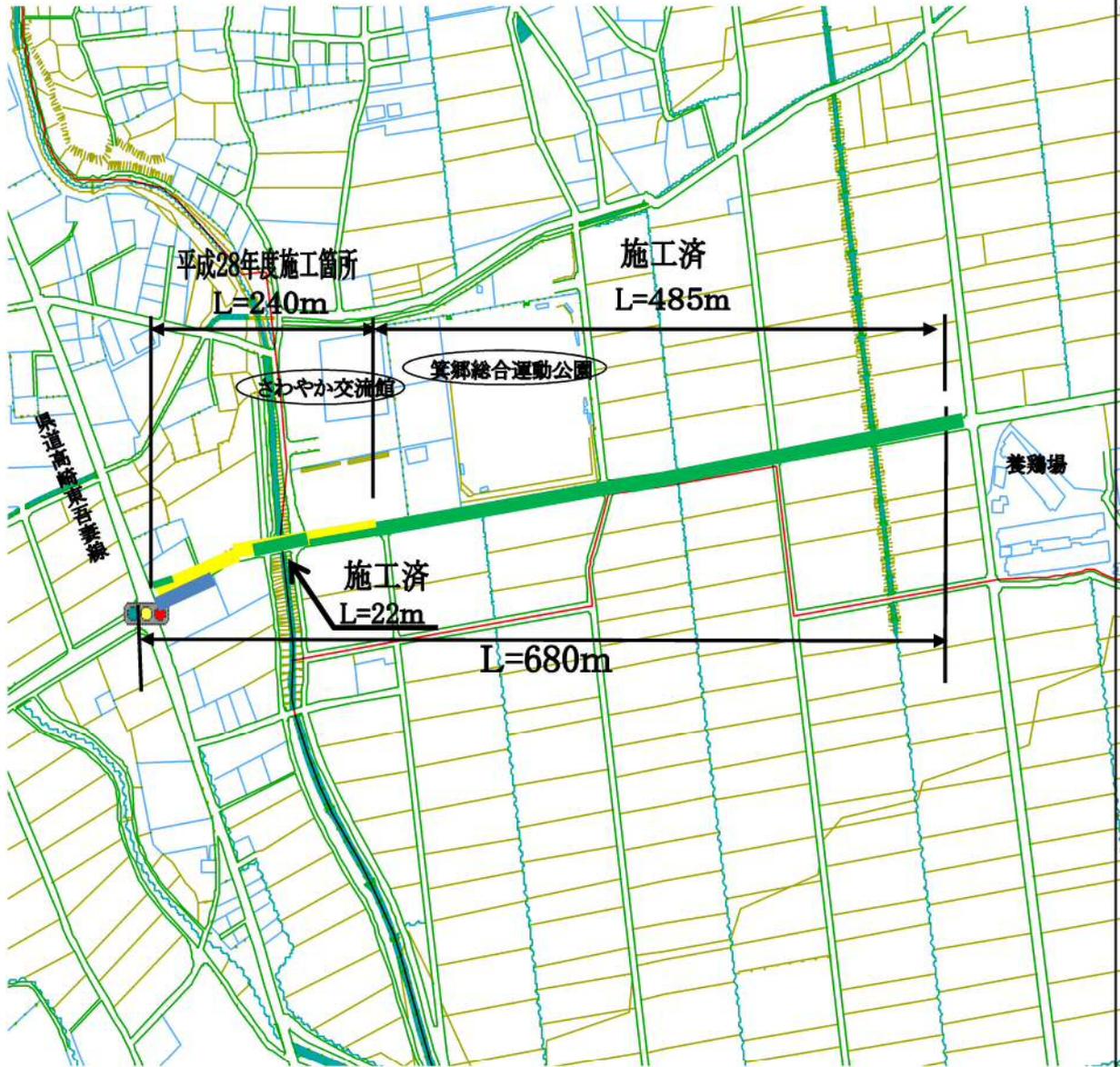
### 【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	28年度事業予定
合計	83,000	・工事内容 暗渠型側溝 L=365.0m、L型擁壁工 L=58.5m 車道舗装工 A=1596.6㎡、歩道舗装工 A=857.3㎡ 区画線工 一式
国	29,150	
県	—	
地方債	21,400	
その他	—	
一般	32,450	



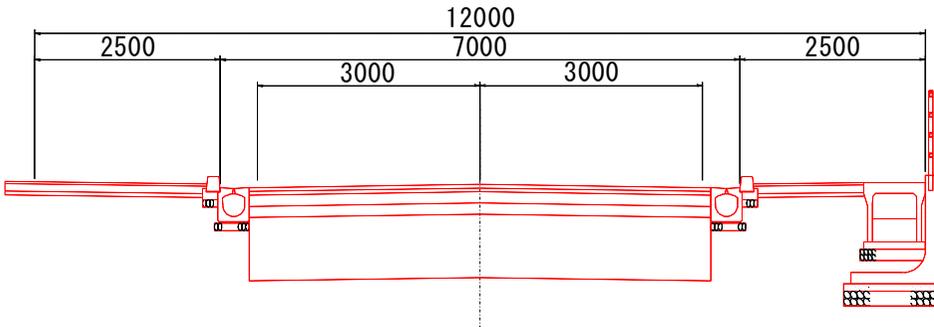
案内図

富岡生原線 街路事業

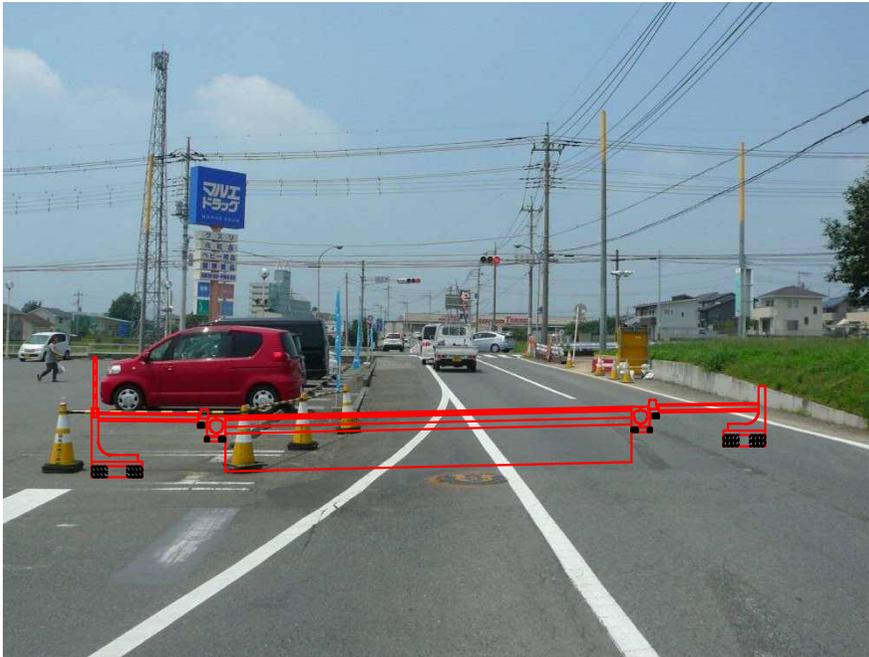


# 富岡生原線

標準断面図



現況写真



## 箕郷地域に関わる事業報告書

平成28年10月31日現在

事業名	箕郷地域住民センター設置事業	所属 (支所)	総務部企画調整課 (箕郷支所地域振興課)
実施期間	平成20年度～全期	事業の種類	ハード事業

### 【事業概要】

対象		
実施目的	具体的手段	その他
地域住民のコミュニティー活動の拠点となる住民センターを整備することにより、市民参加と地域づくりの推進を図る。	防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、地区集会所を整備する。	

### 【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	27年度事業実績
合計	37,761	36,655	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3区地区集会所解体工事</li> <li>・第3区地区集会所建設工事〔木造平屋建て〕</li> <li>・生原1区地区集会所用地測量委託</li> <li>・生原1区地区集会所設計委託</li> </ul>
国	34,230	30,991	
県			
地方債			
その他			
一般	3,531	5,664	

### 【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	28年度事業予定
合計	57,697	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生原1区地区集会所解体工事(9月23日完了)</li> <li>・生原1区地区集会所建設工事〔木造平屋建て〕(平成29年1月27日完了予定)</li> <li>・東区地区集会所用地測量委託(8月10日完了)</li> <li>・東区地区集会所設計委託(平成29年2月20日完了予定)</li> </ul>
国	53,100	
県		
地方債		
その他		
一般	4,597	

生原1区地区集会所建設工事 工事状況写真

○平成28年9月23日(解体工事完了)



東から



西から

○平成29年1月5日



東から



西から

## 箕郷地域に関わる事業報告書

平成28年10月31日現在

事業名	農業の成長産業化への取組みについて (農業者新規創造活動事業補助金)	所属 (支所)	農政部農林課 (箕郷支所産業課)
実施期間	平成27年度～	事業の種類	ハード・ソフト事業

### 【事業概要】

対 象	本市の農業者や農業者を含む団体		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
農業者の所得や雇用を増大し、地域活力の向上を図るため、これまでの補助制度を再構築し、地域資源を活かした6次産業化や農畜産物のブランド化等を図るための支援を行う。	<主要な補助メニュー> ・6次産業化等推進事業 ハード事業補助 補助率:4/5以内(1,000万円以内) ソフト事業補助 補助率:定額(500万円以内) ・ブランド商品開発事業 補助率:定額(200万円以内)		

### 【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	27年度事業実績
合計	100,000	90,887	平成27年度は総額1億円を予算措置。 箕郷地域では、6次産業化等推進事業を活用し、梅製品の加工施設・設備導入を2名の農業者が実施(梅ゼリー加工施設、ねり梅加工機械)、ブランド商品開発事業を活用し、パッケージデザイン等の商品開発を3名の農業者が実施(梅しょうゆ、梅干、ドライフルーツ・ジャム等のデザイン)している。
国			
県			
地方債			
その他			
一般	100,000	90,887	

### 【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	28年度事業予定
合計	150,000	前年度の予算総額1億円から、平成28年度は1億5,000万円へ増額し、支援を拡充している。 箕郷地域では、10月時点で、6次産業化等推進事業を活用し、梅製品の加工施設・設備導入を2名の農業者が実施(梅シロップ製造設備導入、梅ピューレ・練り梅製造設備導入)している。
国		
県		
地方債		
その他		
一般	150,000	

# 箕郷地域のまちづくりに関する意見一覧

箕郷支所 地域振興課



□箕郷地域のまちづくりに関する意見

No.1

内容区分	No.	意見	回答
みさと芝桜公園の活用促進について	1	<p>芝桜公園は、芝桜まつり開催期間の4月～5月の1カ月間のみ利用され、残り11カ月間は利用されていない。周辺地域も活用して、季節ごとに開花する花の植栽などにより、年間利用を図り、地域の活性化ができないか。</p> <p>(鈴木委員)</p>	(産業課)
箕輪城跡等の整備について	1	<p>箕輪城跡の大手門周辺や新曲輪東側の北虎口周辺は、史跡エリアに指定されていない。住宅等の開発が進まないうちに、早急に史跡エリアに追加指定し、公有地化を推進してほしい。</p> <p>(北原委員)</p>	(文化財保護課)
	2	<p>郭馬出西虎口門の完成もあり、県外ナンバーの車をよく目にするようになったが、箕輪城までの案内板が少ないため、行き方がわからないという話を耳にする。</p> <p>前橋、渋川など各方面から箕郷町に入ったところに箕輪城跡の方向を示す案内板の設置をお願いしたい。</p> <p>(北原委員)</p>	(文化財保護課)

□箕郷地域のまちづくりに関する意見

No.2

内容区分	No.	意見	回答
<p>小学校のトイレの洋式トイレへの改修について</p>	<p>1</p>	<p>箕郷地域の小学校のトイレはほとんどが和式トイレだが、最近の児童には和式で上手に用をたせない児童もいるため、洋式トイレに改修してほしい。 (川浦委員)</p>	<p>(教育総務課)</p>
<p>ぐるりんバスの見直しについて</p>	<p>1</p>	<p>ぐるりんバスが町内を運行しているが、住宅が集中する地域であるのにも関わらず、停留所が1つもない地区がある。買い物等に苦勞している住民もおり、路線の見直しをお願いしたい。 (荏戸委員)</p>	<p>(地域交通課)</p>

□箕郷地域のまちづくりに関する意見

No.3

内容区分	No.	意見	回答
まちなかの活性化について	1	<p>大きなお祭りやイベントも良いが、箕郷地域の住民に馴染みのある箕郷支所や旧下田邸などを利用して、地域住民が気軽に参加できる行事を増やし、まちなかの活性化につなげてほしい。</p> <p>(坂内委員)</p>	<p>(地域振興課)</p>
	2	<p>フットパスとはイギリスを発祥とする“森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からある、ありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径(こみち)【Path】”のことである。</p> <p>これに倣い、箕郷地域の地域資源を活かした散策ルートをつくり、マップを作成したらどうか。</p> <p>(坂内委員)</p>	<p>(地域振興課)</p>

平成28年度 第2回箕郷地域振興協議会におけるまちづくりに関する意見一覧 [平成29年1月16日開催]

箕郷地域のまちづくりに関する意見・回答

内容区分	NO	意見	回答
みさと芝桜公園の活用促進について	1	芝桜公園は、芝桜まつり開催期間の4月～5月の1カ月間のみ利用され、残り11カ月間はほとんど利用されていない。周辺地域も活用して、季節ごとに開花する花の植栽などにより、年間利用を図り、地域の活性化ができないか。	芝桜公園は芝桜まつり期間の4月上旬から5月上旬以外は、一般開放されており、現在、近隣住民のウォーキングや榛名湖へ向かうロードレーサーの休憩場所として利用されている。今後の計画としては、園内の芝桜植栽箇所以外で、多様な花を植栽し、季節を通して花が楽しめるよう、来年度から試験的に植栽の準備を考えている。 検討している品種は、ポピー、ツツジ、アジサイ、ラベンダー、ヒマワリ、キキョウ、コスモスなどで、今後、憩いの場として、地域の活性化に向け、より一層努力していきたいと考えている。
箕輪城跡等の整備について	1	箕輪城跡の大手門周辺や新曲輪東側の北虎口周辺は、史跡エリアに指定されていない。住宅等の開発が進まないうちに、早急に史跡エリアに追加指定し、公有地化を推進してほしい。	箕輪城跡の外周部においては、追加指定が必要な場所があり、ここに開発の懸念があることは承知しており、現在、文化庁の指導を受けながら、追加指定の検討を進めているところである。 一方、19ヘクタールにおよぶ国指定地においては、いまだ16パーセント(三の丸・鍛冶曲輪・蔵屋敷・通仲曲輪)が未買取となっており、公有化については、現在の指定地をまずは優先していきたいと考えている。
	2	郭馬出西虎口門の完成もあり、県外ナンバーの車をよく目にするようになったが、箕輪城までの案内板が少なくないため、行き方がわからないという話を耳にする。 前橋、渋川など各方面から箕郷町に入ったところに箕輪城跡の方向を示す案内板の設置をお願いしたい。	箕輪城では、郭馬出西虎口門の復元が完成するなど、整備が進んできており、来訪者も増加してきている。経路上の案内板等の設置については、必要性を認識しているため、全体の案内計画を検討すると共に、関係部署とも協議を進めていきたいと考えている。
小学校のトイレの洋式トイレへの改修について	1	箕郷地域の小学校のトイレはほとんどが和式トイレだが、最近の児童には和式で上手に用をたせない児童もいるため、洋式トイレに改修してほしい。	小中学校のトイレ洋式化については、今年度から予算を確保し、洋式トイレの少ない学校から順次工事を行っている。 箕郷地域では、箕郷東小と車郷小で3基ずつの洋式化工事を今年度行う予定であり、今後も継続してトイレの洋式化に努めていきたいと考えている。

平成28年度 第2回箕郷地域振興協議会におけるまちづくりに関する意見一覧 [平成29年1月16日開催]

箕郷地域のまちづくりに関する意見・回答

内容区分	NO	意見	回答
ぐるりんバスの見直しについて	1	ぐるりんバスが町内を運行しているが、住宅が集中する地域であるのにも関わらず、停留所が1つもない地区がある。買い物等に苦勞している住民もおおあり、路線の見直しをお願いしたい。	箕郷地域の「ぐるりん」については、地域の交通体系検討小委員会においてご検討いただいた結果を反映させた大幅な路線の見直しを行い、平成26年度から現行の「白川線」、「松原線」、「生原線」、「柏木沢線」の4路線で運行している。 今年度も、12月12日に小委員会を開催し「ぐるりん」を含む箕郷地域の交通体系についてご意見をお寄せいただいたところである。 基本的には、幹線の民間バス路線を基軸とし、「ぐるりん」や福祉サービス制度などを組み合わせることによって、買い物や通院といった移動需要にしっかりと対応できるよう、路線や停留所等について検討していきたいと考えている。
まちなかの活性化について	1	大きなお祭りやイベントも良いが、箕郷地域の住民に馴染みのある箕郷支所や旧下田邸などを利用して、地域住民が気軽に参加できる行事を増やし、まちなかの活性化につなげてほしい。	昨年11月、箕郷支所と旧下田邸を会場として初めて「旧下田邸紅葉まつり」を開催し、多くの地域住民でにぎわい、ご好評をいただいたところである。来年度以降も、旧下田邸を核としたイベントを継続していく予定である。 まちなかの活性化については、地域住民の自発的な声の高まりも重要であると考えており、住民の自主性を尊重しながら、支所としてどのような応援ができるか検討していきたいと考えている。
	2	フットパスとはイギリスを発祥とする“森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からある、ありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径(こみち)【Path】”のことである。これに倣い、箕郷地域の地域資源を活かした散策ルートをつくり、マップを作成したらどうか。	箕郷支所では、平成26年度から支所内にワーキンググループを設けて箕郷地域内の観光資源などの洗い出しを行ってきた。箕郷地域の中心街には、史跡や神社仏閣など、城下町の景観が残っており、箕輪城跡と組み合わせて四季折々の散策コースを設定できると考えている。 フットパスについては、地元の理解や協力が不可欠であり、様々な課題もあることから、地域住民の意見を聞きながら、検討していきたいと考えている。

## 平成27年度高崎市決算の概要について

- 1 平成27年度の「一般会計」と「各特別会計」の決算は下表のとおりとなりました。  
 「一般会計」の歳入は、1,646億5,946万円、歳出は、1,575億1,575万円  
 で、歳入・歳出の款別構成状況は、2ページ・3ページのグラフのとおりです。  
 なお、表中の各金額は万円未満を四捨五入しているため、計数整理の結果、表内で異同を生じることがあります。

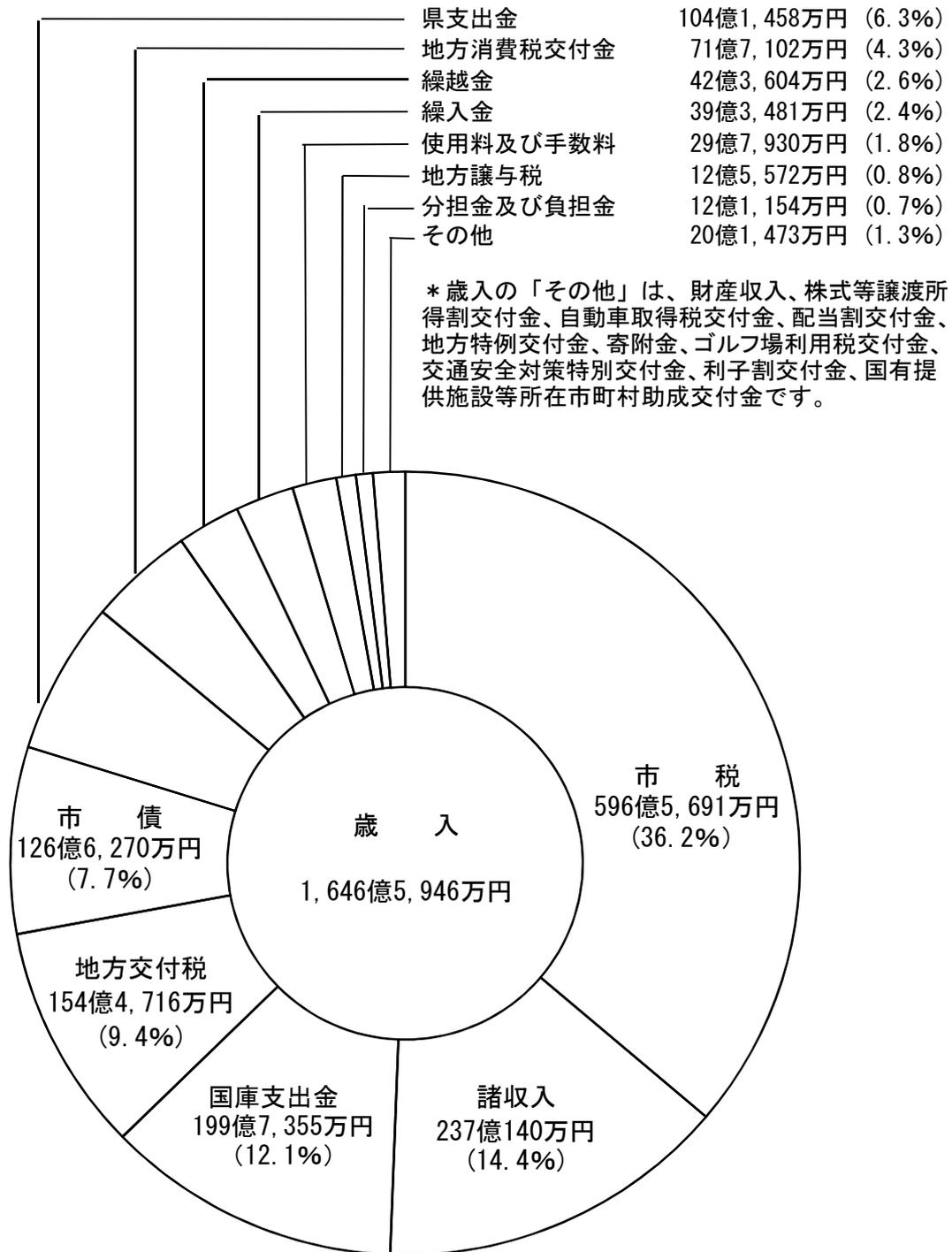
一般会計・各特別会計歳入歳出決算一覧表
---------------------

(単位 万円)

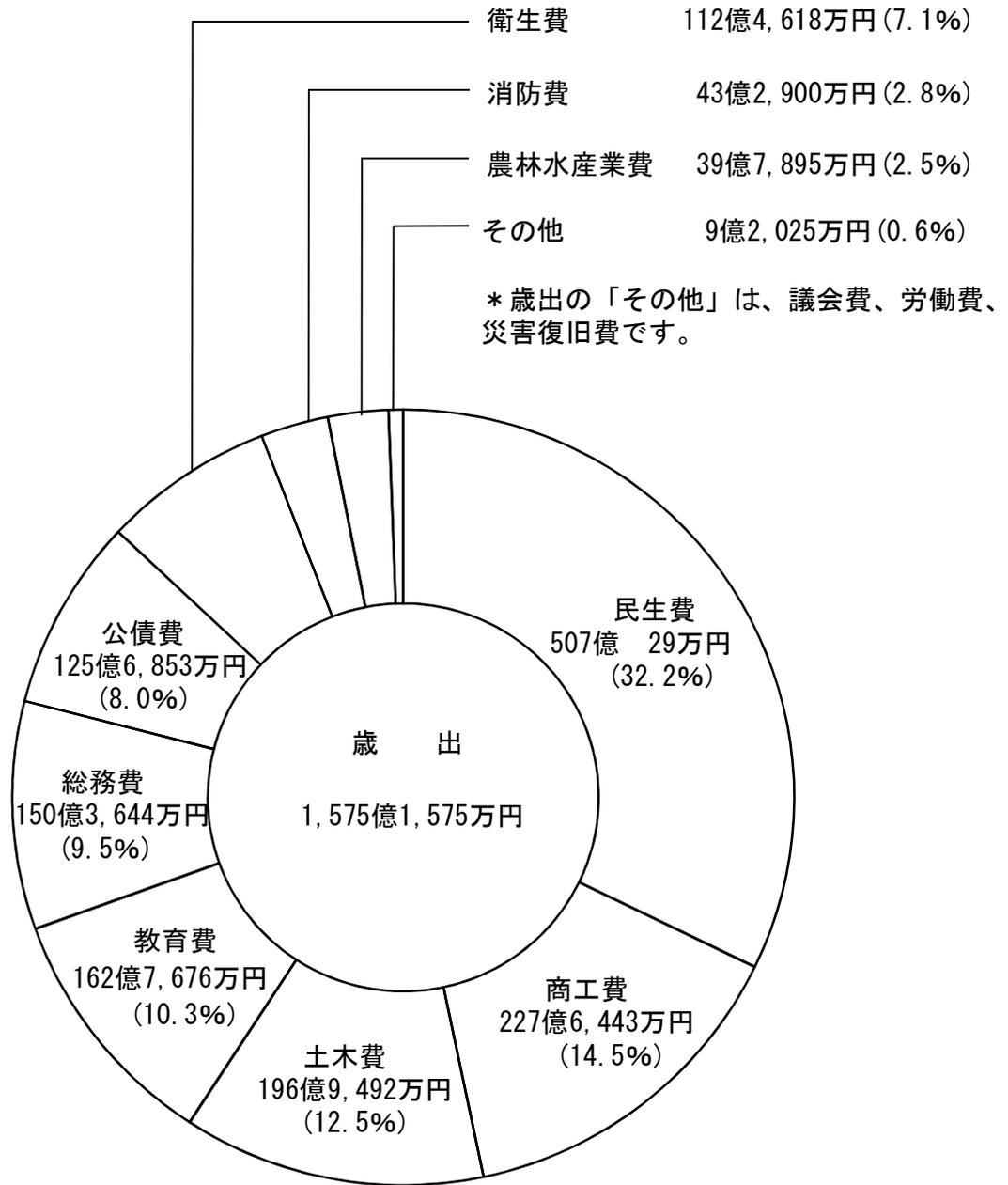
区 分	予 算 額	決 算 額	
		歳 入	歳 出
一 般 会 計	1,590億6,000	1,646億5,946	1,575億1,575
特 別 会 計	803億1,942	812億4,400	791億1,088
国民健康保険事業	436億3,169	455億2,553	443億6,733
介護保険	308億3,949	298億7,612	289億9,105
牛伏ドリームセンター事業	1億1,803	1億2,578	1億1,957
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	7,418	8,269	5,129
後期高齢者医療	40億7,309	40億4,201	40億 116
簡易水道事業	1億2,314	1億1,873	1億1,034
農業集落排水事業	1億5,351	1億5,513	1億5,213
駐車場事業	4億7,049	4億8,222	4億8,222
土地取得事業	8億3,579	8億3,579	8億3,578
合 計	2,393億7,942	2,459億 346	2,366億2,663

# 一般会計歳入・歳出決算額の款別構成状況

## 【歳入】



## 【歳出】



- ◎ 歳入決算額 1,646億5,946万円 (A)  
 歳出決算額 1,575億1,575万円 (B)  
 差引額 (A) - (B) = 71億4,371万円

※差引額のうち、翌年度へ繰越すべき財源として、繰越明許費繰越額  
 12億9,511万円を繰越し、さらに財政調整基金へ41億円積み立て、  
 残りの17億4,860万円を翌年度への繰越金としました。

## 2 普通会計による決算状況

※普通会計とは、他の地方公共団体（県や市町村）などと比較しやすいように、「一般会計」と「特別会計のうち公営事業会計以外の会計」を総合してひとつの会計としてまとめ、全国共通の基準に調整した会計です。

歳入		(単位 万円)					
区 分	年 度	26年度		27年度			
			構成比	伸 率		構成比	伸 率
			%	%		%	%
1	地 方 税	596億6,959	36.2	2.4	596億5,691	36.2	0.0
2	地 方 譲 与 税	11億9,951	0.7	△4.8	12億5,572	0.8	4.7
3	利子割交付金	8,153	0.1	△36.0	8,513	0.0	4.4
4	配当割交付金	3億3,887	0.2	79.0	2億6,744	0.2	△21.1
5	株式等譲渡 所得割交付金	1億9,810	0.1	△34.1	2億7,010	0.2	36.3
6	地方消費税 交 付 金	43億1,461	2.6	21.0	71億7,102	4.3	66.2
7	ゴルフ場利用 税 交 付 金	1億3,657	0.1	△9.2	1億3,918	0.1	1.9
8	自動車取得税 交 付 金	1億6,556	0.1	△56.9	2億6,870	0.2	62.3
9	国有提供施設 等助成交付金	4,015	0.0	△4.0	3,653	0.0	△9.0
10	地方特例交付金	2億3,728	0.2	△1.2	2億4,491	0.1	3.2
11	地方交付税	168億8,730	10.3	△2.1	154億4,716	9.4	△8.5
	普通交付税	146億7,221	8.9	△1.5	132億1,704	8.0	△9.9
	特別交付税	22億1,509	1.4	△6.0	22億3,012	1.4	0.7
12	交通安全対策 特別交付金	8,581	0.1	△10.5	9,166	0.0	6.8
13	分担金・負担金	14億8,842	0.9	3.9	12億4,760	0.8	△16.2
14	使用料・手数料	30億1,661	1.8	0.9	29億8,143	1.8	△1.2
15	国庫支出金	189億7,925	11.5	15.1	199億9,762	12.1	5.4
16	県支出金	84億3,069	5.1	4.2	104億9,428	6.4	24.5
17	財産収入	2億9,745	0.2	△53.5	2億7,975	0.2	△6.0
18	寄 附 金	1,371	0.0	△96.0	1億8,568	0.1	1254.3
19	繰 入 金	67億6,102	4.1	27.1	39億3,588	2.4	△41.8
20	繰 越 金	26億6,290	1.6	35.2	42億6,687	2.6	60.2
21	諸 収 入	248億6,469	15.1	△7.5	237億 911	14.4	△4.6
	貸付金元利収入	213億9,967	13.0	△6.9	191億7,161	11.6	△10.4
22	地 方 債	148億4,620	9.0	21.5	126億6,270	7.7	△14.7
	合 計	1,647億1,582	100.0	4.1	1,646億9,538	100.0	0.0

歳 出

(単位 万円)

区 分	年 度	26年度		27年度			
			構成比	伸 率		構成比	伸 率
			%	%		%	%
1 人 件 費		205億1,980	13.1	3.8	206億7,024	13.1	0.7
うち職員給		126億1,566	8.0	4.8	128億9,574	8.2	2.2
2 扶 助 費		306億4,121	19.5	7.2	318億8,480	20.2	4.1
3 公 債 費		135億3,904	8.6	1.4	134億 432	8.5	△1.0
4 物 件 費		180億1,344	11.5	4.8	179億1,802	11.4	△0.5
5 維 持 補 修 費		12億4,948	0.8	△14.7	13億6,406	0.9	9.2
6 補 助 費 等		187億 878	11.9	13.4	181億2,110	11.5	△3.1
7 積 立 金		4億8,075	0.3	△86.2	19億8,097	1.3	312.1
8 投資・出資金							
貸 付 金		214億1,357	13.7	△6.7	191億9,930	12.2	△10.3
うち貸付金		213億7,799	13.6	△6.7	191億6,023	12.2	△10.4
9 繰 出 金		107億2,627	6.8	5.5	115億2,532	7.3	7.4
10 普通建設事業費		215億2,133	13.8	14.6	214億5,022	13.6	△0.3
うち補助事業費		69億6,562	4.5	89.9	86億4,303	5.5	24.1
うち単独事業費		145億5,571	9.3	△3.7	128億 719	8.1	△12.0
11 災 害 復 旧 費		3,528	0.0	△56.7	192	0.0	△94.6
合 計		1,568億4,895	100.0	3.0	1,575億2,027	100.0	0.4
歳 入 歳 出 差 引 剩 余 金		78億6,687	—	31.9	71億7,511	—	△8.8

### 3 平成27年度普通会計による県内他市との比較

区 分	高崎市	前橋市	桐生市	伊勢崎市	太田市	
人口（H28.3.31）（人）	375,035	338,784	116,316	211,630	223,030	
歳入総額（万円）	1,646億9,538	1,442億4,865	498億8,458	812億9,403	831億4,477	
歳出総額（万円）	1,575億2,027	1,405億4,869	462億6,523	785億7,317	793億9,097	
実質収支（万円）	58億8,000	33億2,259	27億 408	26億1,531	24億7,816	
実質収支比率（％）	7.2	4.3	10.1	6.2	5.0	
経常収支比率（％）	91.1	92.0	90.3	94.7	89.9	
地方債現在高（万円）	1,363億7,391	1,517億3,912	384億8,761	693億5,935	728億9,812	
実質公債費比率（％）	6.4	8.0	5.6	6.1	6.9	
将来負担比率（％）	29.9	58.7	23.8	36.8	51.7	
財政力指数	0.843	0.790	0.560	0.823	0.982	
積立金 現在高 （万円）	財政調整基金	73億3,680	100億4,018	54億 237	67億4,684	87億6,630
	減債基金	15億4,841	12億9,211	2億7,334	10億3,126	3,188
	その他	108億6,707	60億3,803	39億1,205	39億3,930	12億6,352

#### ※用語の説明

実質収支	歳入から歳出を差し引いた額を「形式収支」といいますが、この「形式収支」から翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた決算額のことをいいます。
実質収支比率	標準財政規模に対する実質収支の割合で、おおむね3%～5%程度が望ましいとされています。
経常収支比率	地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標です。 70～80%未満が健全ラインといわれており、比率が高くなるほど財政運営が硬直化していると考えられます。
実質公債費比率	地方債制度の改正により、許可制から協議制に変更されたことで設けられた数値で、この比率が18%以上になると許可団体となります。
将来負担比率	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、財政の健全化を判断する指標の一つで、地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の比率で、市町村では、350%以上になると財政の早期健全化を図ることとなります。
財政力指数	普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3カ年平均値で、数値が1に近くあるいは1を超えるほど財政力が強いとされています。
財政調整基金	突発的な災害や緊急を要する経費に備えるために設置された基金です。 また、決算剰余金が多いときは積み立て、財源不足時に取り崩すという、年度間の調整的な役割も果たします。
減債基金	市債（借金）の償還（返済）の増加に備えるために設置される基金です。 公債費が他の経費を圧迫するような場合には、この基金を取崩して公債費に充てます。